

地域にふさわしい公共交通体系の実現に向けて

昨年10月17日から12月16日までの2か月間、市内循環バス及び予約(デマンド)型乗合タクシーの運行を試験的に実施しました。この際に行った利用状況調査や、アンケートなどを紹介し、今後の計画の方向性などを皆さんにお知らせします。

■実証運行実績の概要

運行期間 平成23年10月17日～平成23年12月16日(土、日、祝祭日を除く)
(延べ日数43日間) ※循環バスについては、1カ月間は環境省の事業

都留市地域公共交通総合連携計画を策定しました

これまで事業者任せであった公共交通の維持は、全国の各地域において、その存続が危ぶまれています。本市におけるは現在のバス路線は、赤字額を行政・事業者がともに補てんし、各路線の運行が成り立っています。県内においても路線の8割は赤字運行であり、昨年は3路線が廃止されている状況です。少子高齢化社会である現在、今後の公共交通のあり方が大きく問われています。

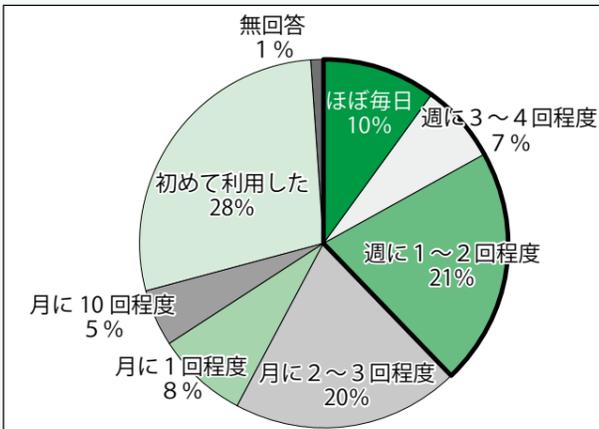
市民、事業者、行政の代表で組織される都留市地域公共交通活性化協議会では、実証運行での実績をはじめ、市内の公共交通における様々な現状の課題を整理し、公共交通の維持には、利用者自身がそのあり方を考え、地域の足は地域で守っていくことが必要であると意見をとりまとめました。これを受け、本市の公共交通維持のため、市民、事業者、行政がともに協力し、意見を交え取り組むべき内容をまとめた「都留市地域公共交通総合連携計画」を策定しました。この計画は、平成24年度からの3年間を計画期間とします。

利用者アンケート調査結果

■循環バスの利用頻度

循環バスの利用状況は、ほぼ毎日利用している人から、週に1～2回程度利用している人までを合わせると(グラフ内の太線部分)、40%近くになりました。

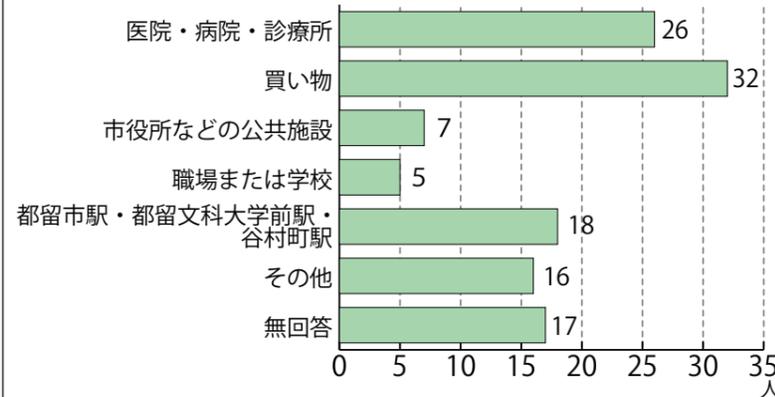
一方、予約(デマンド)型乗合タクシーの利用者アンケートでは、本格運行をした場合の利用希望について尋ねたところ、その数値は約75%という高い数値になりました。



■路線バスを利用する際の主な行き先・目的

循環バスの利用目的は、「買い物」が一番となっています。次に「医院、病院、診療所」です。

これに対し、予約(デマンド)型乗合タクシーは、一番が「医院、病院、診療所」で62.2%、となり、二番目の「買い物」の13.5%と比較すると大変割合が高くなっています。これらの乗車状況に応じた運行内容が必要です。



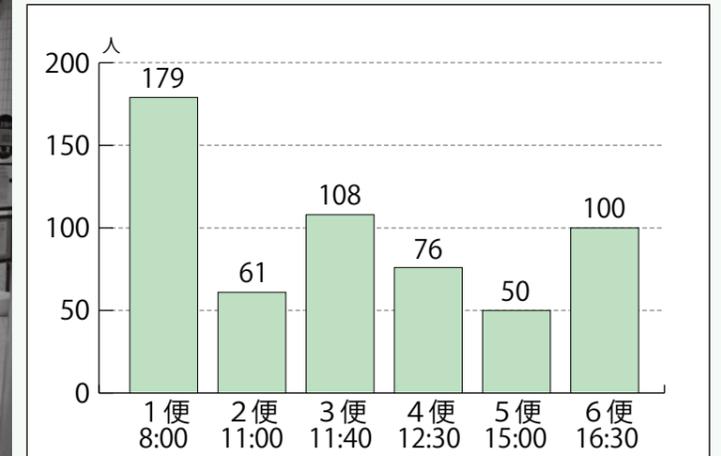
実証運行に対する意見など

- 継続をぜひ希望します。バスを利用することによって、心の余裕が生まれました。運転手さんとの心のふれあいが良かったです。利用する人も多く、学生、子連れの人もいて楽しい一日でした。
- バス停を分かりやすくしてください。年寄りのためにも継続してください。大変便利だと感じました。
- 市の行事、催し物は、ほとんど日曜日か祝祭日ですが、平日のみの運行では参加できないので何とかならないでしょうか。
- 運転手さんが大変親切にしてくださいました。2か月間本当に楽しみでした。以後もぜひ続けてください。お願いします。都留市駅まで運行してもらい助かりました。月待ちの湯に行きたくても連絡が取れません。何とかできませんか。
- 現在、自分たちの足が自動車等で確保できているから利用者も少ない。みんなで利用とする意識がない限り公共交通は育つことはできません。
- 昔、市でノーカーデーの取組をしていましたが、同じようなことを市内企業にお願いしてはどうでしょうか。
- 乗る人が少なくて本数を減らすと利便性が落ちるため、乗る人もどんどん少なくなります。減便によるコスト削減は逆効果です。



予約(デマンド)型乗合タクシー

- 利用者合計 574人
- 平均利用者数 1.91人/台
- 運行稼働率 58%



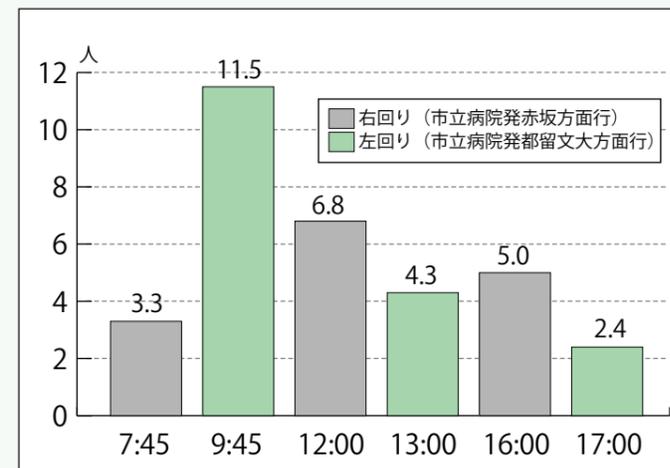
■便別平均乗車人員数

第1便の利用者が一番多いです。1、3、5便はそれぞれ各地域から市立病院に向かう便(往路)です。復路の利用者は、往路より少ない状況から、別の交通手段を利用していることがうかがえます。

利用状況調査結果

■便別輸送人員

第2便の利用者が一番多い状況は、予約(デマンド)型乗合タクシーと状況が異なります。左回り、右回りとも利用状況は、さほど差はありません。



市内循環バス

- 利用者合計 1,432人
- 平均利用者数 5.8人/便
- 1便あたり最高利用者数 23名
- 利用者の多かったバス停

(乗車)	(降車)
1. 都留市駅	1. 市立病院前
2. 市立病院前	2. 月待ちの湯
3. 月待ちの湯	3. 都留市駅

